

### 3 養蚕農家における子供の生活（第3報）

福島大学 ○岡村 益子  
高橋 幸三 子子  
辻 英 子子  
小野 栄 子子

養蚕農家における生産と生活の拮抗関係の中で子供の生活はどう営まれているのか、遊びや勉強などの個人生活と仕事手伝いとの競合関係を明らかにするため実態調査を行った。対象は福島県梁川町栗野地区の養蚕農家中層の子女の中、小4から中3年までを年齢別、性別に層化し、30名を抽出・面接聴取した。

遊びは水浴び等単純なものが多い。遊び相手は男女夫々同性に、又近所の友達に限られ、きょうだいは少い。場所は養蚕を妨げない範囲で縁側・かって・家の前庭等で遊び、野球等のためには校庭や神社に行く。

勉強については親の要求もさして高くはなく、参考書も多いとはいえ、課外の読書も低調に見受けられた。

仕事手伝いは、経営規模や労働力の充実度に従って、養蚕・家事・農事と多様にわたり、殊に家事の一部や家畜世話の責任をもっている者もいる。これらに対して明確な価値評価をされていない場合が多い。子供達は普通必要に応じて小遣いを貰うにすぎない。然し少数の者について養蚕のうち計量可能な仕事についてだけその都度計算された報酬を貰う者や、兎の収入を貰う者があり、雑誌や学習関係のものを買っている。子供の中にはかかる評価を親に希望する者もあり、個人が認められる萌芽形態を示しているようである。